

時間を大切にするということー時の記念日に寄せてー

今日(6月10日)は、時の記念日です。671年、天智天皇が「漏刻」と呼ばれる水時計で時を計り、人々に時を知らせた日が6月10日であるということに由来します。「時の記念日」は、1920年、時間を守ることが大切であるということを日本に広めるために設けられました。

今日は、時の記念日にちなんで、「時間を大切にする」ことの意味について、みなさんとともに考えてみたいと思います。

二つの点からお話をします。まず一つ目は、自分自身にかかわることです。

時間はふだんの生活とともに、人生に大きくかかわっています。人は、何かを達成したいと思うときに計画を立てます。その際、どういうことに、どれくらい時間をかけるのかを考えます。時間を大切に使うことのその先には、「達成したいこと」や「実現したいこと」、「なりたい自分」、「かなえたい夢」があるのではないかでしょうか。計画を立てることは、時間を生かして使うための準備といえるでしょう。

二つ目は、まわりの人たちや社会にかかわることです。

時間を大切にすることは、自分の目標を達成するためだけではありません。私たちは、仲間やまわりの人たちのために、時間を費やすことがあります。例えば、皆さんは、係活動や委員会活動など、まわりの人たちのために多くの時間を使っています。家庭でもお手伝いをすることもあるでしょう。人とともに過ごす時間を生かすことで、一人ではできなかつたことでも、実現することができるかもしれません。仕事をするということは、社会のために時間を生かし、使うことでもあります。

田辺中学校のみなさんは、日常の授業や集会、学校行事でも、決められた時間内に集まり、活動することができます。学校では、さまざまな場所に時計があり、チャイムで時を告げています。みんなで時間を守ることが習慣になることで、集団生活の規律が整い、集団行動がよりスムーズに行われ、一人ひとりの学校生活も充実していきます。

時間は、自分の未来や将来の夢と結びつくだけでなく、人と人とのつなぎ、社会がよりよくなることにも関係するものだと思います。自分たちが大切にし、生かして使う時間が、多くの人々の幸せにもつながっていくのではないかでしょうか。

「時の記念日」に当たり、時間の大切さについて、改めて意識し、その生かし方・使い方の先に、どのような意味や価値があるのかを考えてみてほしいと思います。

※全校集会での講話の内容に加筆・修正しています。